

## 特集1

# 自然災害に備える

6月は、雨の季節となり大雨による風水害も発生しやすい時期です。近年は、異常気象とよく言われるように、全国では突発的なゲリラ豪雨や大型化した台風による被害が多く発生し、新聞報道等で目にする事が多くなりました。今月号では、その自然災害についての知識や、日頃からの備えについて特集します。

## 近年の大雨の状況

平成30年7月豪雨では、長時間にわたる記録的な大雨により、全国各地で河川の氾濫による浸水や土砂崩れ等が発生しました。

松浦市でも数十年に一度の大雨など、重大な災害が起こる恐れが著しく大きいと予測される場合に出される「大雨特別警報」が発表されました。大雨が続くと山間部では、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちるがけ崩れや、地滑りの危険性が高くなります。

また、河川には雨水が流れ込み、増水し氾濫の恐れが出てきます。

松浦市の地域防災計画では、気象庁又は長崎県が発令する各警報および



び土砂災害警戒情報の通知を受け、危険地域の避難が要すると判断した時、河川においては警戒水位を突破し、溢水又は決壊する恐れがある時等、災害発生による被害が想定される場合に「避難勧告」や「避難指示」を発令する基準を設けています。

自然災害は雨風だけではなく地震、それに伴う津波といつ何処で起きるか分からないものもあります。そのためいざという時の備えが重要になります。

## 気象情報の把握

災害が起こる恐れがあるかを判断する目安としては、気象庁が発表する注意報および警報が一つの判断材料になります。

テレビやラジオなどで随時放送される気象情報に十分注意してください。防災行政無線から伝えられる防災情報についても注意深く聞きましょう。

## 松浦市からの防災情報

・ 防災行政無線や広報車等  
防災行政無線は、テレホンサービス  
0956-72-4444で確認できます。(市内全域放送のみ)

・ 松浦市ホームページ  
<https://www.city-matsaura.lg.jp>

・ テレビデータ放送(NBC)

市内の防災情報、避難情報について掲載します。

自然災害に備える

災害への備え

大雨や地震などによる被害は人の力ではくい止めることができませぬ。被害をできるだけ少なくするため、普段から対策を講じることが必要です。

「ライフラインの停止に備える」

災害時は、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まる可能性があります。普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが必要です。

また、避難した際に必要となるものをリュックなどに詰めておき、いつでも持ち出せるように備えておきましょう。

「必要と考えられるもの」

- 非常食・飲料水
- 生活用品（衣類など）
- 懐中電灯
- ヘルメット
- 貴重品
- 救急医療品・常備薬
- 携帯ラジオ、予備電池など



「危険箇所・避難所の把握」

過去の被害も含めて、自宅付近の地形や道路の状況などを確認し、日頃から危険箇所を把握しておきましょう。

市では避難場所を地区ごとに設けています。各家庭に配布している「暮らしの便利帳」にも記載しています。また、市のホームページでも確認できますので事前に確認しておくようにしましょう。



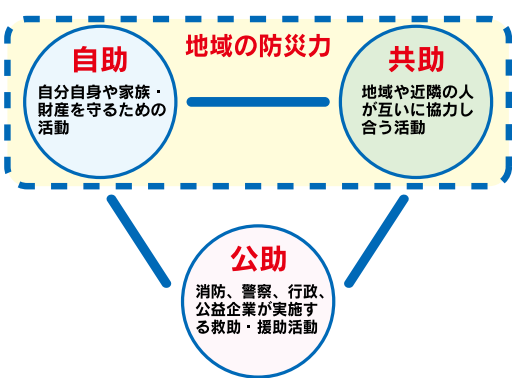
災害に強い地域を作ろう

（自主防災組織の結成）

災害発生時には、自助・共助・公助の連携により人的・物的被害を軽減することが出来ます。

大規模な災害が発生した時には、公的機関が行う活動（公助）が迅速に対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える（自助）とともに、地域での助け合い（共助）による地域ぐるみでの活動が必要となつてきます。

そのため市としては「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を育み、平常時から団結して災害に備えられるよう自主防災組織の結成を推進しています。



「問合せ先」

防災課防災安全係

☎内線329

自主防災組織結成までの流れ

地域の自主防災活動を行う「自主防災組織」の結成には、まず何よりも住民の皆さんの理解と協力が不可欠です。

